

令和2年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立男女共同参画センター西部館及び大阪市立こども文化センター
施設所管課・担当	市民局ダイバーシティ推進室男女共同参画課（電話：06-6208-9156） こども青少年局企画部青少年課（電話：06-6208-8157）
条例上の設置目的	（男女共同参画センター西部館） 男女共同参画社会の実現をめざす活動の拠点として、男女が社会の対等な構成員として社会のあらゆる分野における活動に参画し、個人として能力が発揮できるよう多面的な支援を行うことにより、男女共同参画社会の形成に寄与することを目的とする。 （こども文化センター） 優れた演劇、音楽、映画等の鑑賞及び絵画、工作等の創作その他の文化活動を通じ、健全な本市児童の育成を図ることを目的とする。
業務の概要	異なる設置目的を持つ複合施設として「施設の管理・運営」を、男女共同参画社会の形成の寄与に関する業務として「情報の収集及び提供」「講演会・講習会・研修会等の開催」「相談事業」「啓発」を、こどもの文化の形成の寄与に関する業務として「舞台芸術事業の提供」「情報収集・提供と相談事業」「人材養成・交流・協働事業」を、また「その他市長が必要と認める事業に関する業務」を実施。
成果指標	（男女共同参画センター西部館） 貸室等利用率／貸室等利用者満足度／情報・図書コーナー利用者数／講座受講者数／講座受講者満足度 （こども文化センター） ホール稼働率／事業参加者数／事業満足度
数値目標	（男女共同参画センター西部館） 67.1%以上／80%以上／1,900人以上／1,200人以上／80%以上 （こども文化センター） 50%以上／8,000人以上／80%以上
指定管理者名	クレオ大阪西・こども文化センター共同事業体 一般財団法人 大阪市男女共同参画のまち創生協会(代表者) 一般財団法人 大阪教育文化振興財団(構成員) サントリーパブリシティサービス株式会社(構成員)
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日
評価対象期間	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日

2 管理運営の成果・実績

（男女共同参画センター西部館）

成果指標	貸室等利用率	貸室等利用者満足度	情報・図書コーナー利用者数	講座受講者数
数値目標	67.1%以上	80%以上	1,900人以上	1,200人以上
年度実績	37.2%	99.8%	983人	394人
達成率	55.4%	124.8%	51.7%	32.8%

成果指標	講座受講者満足度
数値目標	80%以上
年度実績	98.6%
達成率	123.3%

（こども文化センター）

成果指標	ホール稼働率	事業参加者数	事業満足度
数値目標	50%以上	8,000人以上	80%以上
年度実績	5.1%	1,577人	100%
達成率	10.2%	19.7%	110.8%

利用状況

（男女共同参画センター西部館）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	17,162	52,802	-35,640
稼働率	37.2%	56.6%	-19.4%

（こども文化センター）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	1,577	18,242	-16,665
ホール稼働率	5.1%	59.9%	-54.8%

令和2年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
業務代行料	実績	106,908,583	109,303,812	1,106,583	新型コロナウイルス感染症にかかる臨時休館等による利用料金収入見合の補填
	計画	105,802,000	109,231,000		
利用料金収入	実績	1,750,170	0	-3,241,830	新型コロナウイルス感染症にかかる臨時休館等による利用率低下
	計画	4,992,000	0		
その他収入 (自主事業収入)	実績	6,476,670	6,594,816	-4,275,330	新型コロナウイルス感染症にかかる自主事業(自主講座)実施の中止
	計画	10,752,000	6,242,000		
合計	実績	115,135,423	115,898,628	-6,410,577	
	計画	121,546,000	115,473,000		

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	65,540,326	66,965,128	5,439,326	当初計画と比して、配置職員の増員
	計画	60,101,000	62,882,000		
物件費	実績	52,256,581	43,847,817	-4,698,419	新型コロナウイルス感染症にかかる当初事業数見直し(削減)
	計画	56,955,000	52,591,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	1,714,832	0	-2,775,168	新型コロナウイルス感染症にかかる自主事業(自主講座)実施の中止
	計画	4,490,000	0		
合計	実績	119,511,739	110,812,945	-2,034,261	
	計画	121,546,000	115,473,000		

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

(男女共同参画センター西部館)

評価項目	達成率	評価	特記事項
貸室等利用率	55.4%	—	新型コロナウイルス感染症にかかる臨時休館等による影響
貸室等利用者満足度	124.8%	S	
情報・図書コーナー利用者数	51.7%	—	新型コロナウイルス感染症にかかる臨時休館等による影響
講座受講者数	32.8%	—	新型コロナウイルス感染症にかかる実施回数減、定員規制による影響
講座受講者満足度	123.3%	S	

(こども文化センター)

評価項目	達成率	評価	特記事項
ホール稼働率	10.2%	—	新型コロナウイルス感染症にかかる臨時休館等による影響
事業参加者数	19.7%	—	新型コロナウイルス感染症にかかる実施回数減、定員規制による影響
事業満足度	110.8%	A	

令和2年度 指定管理者年度評価シート

(2) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の対策として、一般的なマスク着用、消毒液の設置のほか、当施設独自にフリーアドレスを継続して導入する等、勤務する職員への対応も柔軟に努めたことは評価できる。 ・また、臨時休館による施設利用キャンセル、本市施策である施設利用料の半額対応についても、臨機応変に対応し、利用者に対して迅速に連絡・説明を行うなど、混乱をきたすことなく施設運営に努めたことは評価できる。 ・こども文化センターでは令和2年8月～令和3年3月の間、ホール天井改修工事により臨時休館を行った。 ・西部館、こども文化センターとも施設利用については、利用人数や利用率は目標には達しなかったものの、新型コロナウイルス感染症拡大による影響は考慮するところである。次年度以降も引き続き新型コロナウイルス感染症による影響が予想されることから、利用率の改善策を検討・実施してもらいたい。
事業計画の実施状況	A	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による影響で、従来実施してきた対面式だけでなく、オンラインを活用したセミナーを開催することで継続した学習機会を提供したことは評価できる。 ・クレオ大阪西の特徴として、地域防災・減災に関する内容の事業を楽しみながら体験できるよう趣向を凝らして展開するとともに、オンラインでの実施も展開するなど、意識的に取り入れている。 ・こども文化センターにおいては、ホール天井改修工事期間中については、他の施設等を積極的に活用して鑑賞事業等を実施した。 ・また、クレオ大阪西・こども文化センター複合施設である強みを生かし、親子参加型の事業展開、リコチャレやSDGsをテーマにした若年層を対象としたセミナー開催など、施設設置の主旨・目的と合致した事業展開をしていることが評価できる。 ・今後も新型コロナウイルス感染症による影響が予想されることもあり、従来、蓄積してきた手法やノウハウについても柔軟に活用してもらいたい。
施設の有効利用	B	<ul style="list-style-type: none"> ・クレオ大阪西として、近隣の小学校との連携により授業（学習）への協力を行うとともに、日本語教室の運営についてもボランティアグループと連携のうえ、多くの参加者があった。 ・クレオ大阪西およびこども文化センター両施設が連携して各種事業を展開するだけでなく、施設相互のPRを行うことで、複合施設としての特性を発揮した。 ・こども文化センターとして、学校における文化活動との協働として、中学校や高校と連携し、ダンス、演劇、吹奏楽などの各種事業を実施した。また、区内の音楽祭実行委員会や各種団体とも連携し、定期演奏会や音楽発表会などの事業を展開した。

令和2年度 指定管理者年度評価シート

社会的責任・市の施策との整合性	B	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の削減やリサイクルの推進等、環境に対する一定の取組みが実施されるとともに、採光の有効利用による消灯の拡大など、省エネルギーの推進に努めた。 ・また、事務室内をフリーアドレスとすることで、従前よりプライバシーポリシー及び情報セキュリティ対策基準を強化した。 ・前年度2月末からの新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応についても、本市との調整・協議を行い、利用者への影響を最低限に抑えるよう対応の検討を重ね、適切な対応が行われたことは高く評価できる。
-----------------	---	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 市費の縮減（節減努力・収支改善に向けた取組）

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・電力およびガスの需給契約について、競争的手法による事業者選定を実施した。また、電力需給契約に省エネ実践サービスを付加させた。 ・共用部及び諸室の照明設備すべてをLED照明設備に更新したことで、光熱水費の大幅な削減に努めた。 	-	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな指定管理期間である初年度に新たに電気・ガス需要にかかる事業者選定を行うことで、より一層の削減手法を模索し、実践したことは評価できる。 ・利用者サービスの向上に努めつつ、限られた予算の範囲内で多様な事業が実施できるよう経費削減に努め、経費を抑えながら効用を最大化する施設・事業運営を行った。

5 利用者ニーズ・満足度等

<p>【令和2年度実績】 スタッフ対応の満足度：100%（クレオ大阪西）、受講者満足度：98.6%（クレオ大阪西 ※男女共同参画セミナー） 施設利用満足度：93.0%（こども文化センター）</p> <p>【参考：令和元年度実績】 スタッフ対応の満足度：99.8%（クレオ大阪西）、受講者満足度：98.0%（クレオ大阪西 ※男女共同参画セミナー） 施設利用満足度：94.5%（こども文化センター）</p>

令和2年度 指定管理者年度評価シート

6 外部専門家意見

<ul style="list-style-type: none"> ・こども文化センター事業において、他の施設を使用して事業展開する等、いろいろと工夫して実施してきたことが、利用者の意見からも窺うことができる。 ・選定時の附帯意見としていた「クレオ大阪西とこども文化センター相互の連携による積極的な取組や事業展開」については、次年度以降も継続して積極的に取り組んでもらいたい。 ・男女共同参画セミナーにおいて、分かりやすいタイトルとそうでないものが見受けられることから、次年度については、タイトルから内容がイメージしやすいものにする等、ネーミングの工夫を含めた広報展開に期待する。 ・今後、ハイブリッド型セミナーだけでなく、オンデマンドについても取り入れるなど、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、創意工夫を講じた事業展開が必要である。令和3年度以降も新型コロナウイルス感染症の影響は避けられないことを想定したうえで、特に令和2年度に中止した従来事業については、代替案について、新たな発想により企画実施してもらいたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	S	<ul style="list-style-type: none"> ・貸室等利用者、講座受講者の満足度は、目標を大きく上回っている。なお、新型コロナウイルス感染症による影響がある事項は年度評価の対象外とする。
管理運営の履行状況	B+	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による影響で、従来実施してきた対面式だけでなく、オンラインを活用したセミナーを開催することで継続した学習機会を提供したことは評価できる。 ・引き続き、クレオ大阪西・こども文化センター複合施設である強みを生かし、両施設が連携して各種事業を展開するだけでなく、施設相互のPRを行うことで、複合施設としての特性を発揮するとともに、今後も新型コロナウイルス感染症による影響が予想されることから、これまで蓄積してきた手法やノウハウについても柔軟に活用してもらいたい。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
市費の縮減（節減努力・収支改善に向けた取組）	—	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による影響があることから、当該項目については評価対象外とする。
総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「大阪市男女共同参画推進条例」や「第2次大阪市男女きらめき計画」、「大阪市こども・子育て支援計画」の趣旨・目的を踏まえつつ、令和2年度は新型コロナウイルス感染症やホール天井改修工事による影響に対して、オンライン事業の実施や他施設での事業展開など適切に対応した。また、本市における男女共同参画施策・こどもの健全育成の推進拠点としての役割を果たしていることは評価できる。 ・令和3年度においても新型コロナウイルス感染症による影響が出ており、今後も続くことが予想されることから、年間事業計画を柔軟に見直すとともに、オンライン上での対話型セミナーなど、このような状況下でも実施可能であり、かつ効果的な事業展開を行ってもらいたい。 ・上述の状況下でも施設利用が可能な期間については、引き続き利用人数や利用率の改善を検討・実施してもらいたい。 ・今後も男女共同参画、こどもの健全育成それぞれの事業を展開するだけでなく、施設相互のPRを行うことで、複合施設としての特性を発揮してもらいたい。 ・特にこれまで継続して実施してきた「地域防災・減災」に関する事業については、継続して地域と連携を図るとともに、積極的に取り組んでもらいたい。